

自治体が中心となって堆肥利用拡大に向けたマッチングを支援（養父市）

耕種農家と畜産農家及び堆肥センターとの堆肥利用に係るマッチングを市とJA等関係機関が支援。



【養父市おおや堆肥センター】



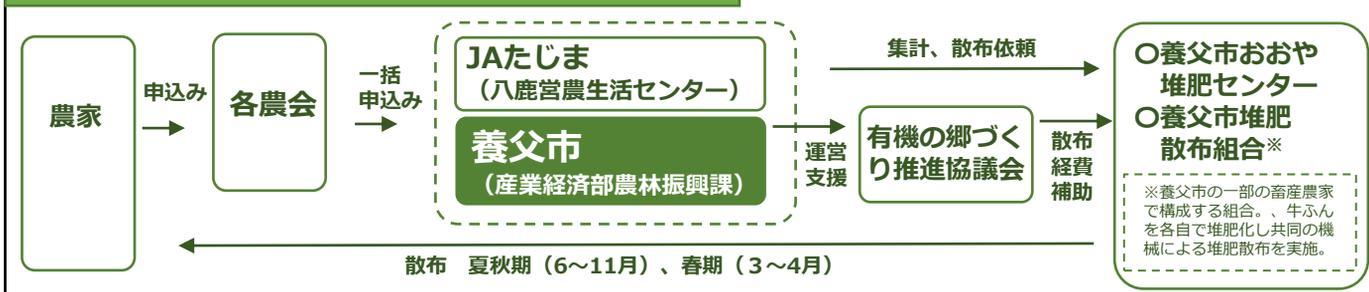
【マニアスプレッタ】

1. 取組概要

- 養父市では「人と環境にやさしい農業」※の実現を目指して、「やぶし有機の郷づくり」を推進。その一環として、市内で生産された堆肥を活用した健康な土づくりを市内全域に広げるために、耕種農家と堆肥センター等とのマッチングを図り、堆肥の配達・散布体制を構築。
- 堆肥散布は、市が関係機関と連携し「堆肥の配達・散布事業」に取り組み、夏秋期（6～11月）及び春期（3～4月）に水田・畑に堆肥を散布。市は、散布経費を補助。
- 平成15年には、「やぶし有機の郷づくり」には欠かすことができない「養父市おおや堆肥センター」を市が整備。センターは、市内で飼育される肉用牛や乳牛の家畜ふん尿や水稲のもみ殻などを受入れて完熟堆肥を生産。生産される堆肥の品質は、平成26年より「兵庫県堆きゅう肥共励会」にて6年連続で上位入賞するなど、優良な有機質資材として認められている。

※「人と環境にやさしい農業」とは、養父市において、有機農業や農薬・化学肥料低減農業を始め、省力化を含めた先端技術の活用を進めるなど、環境に配慮した農業。（養父市人と環境にやさしい農業ビジョン）

2. 堆肥の配達・散布事業体制図



3. 実績と効果

- ① 令和4年度堆肥の配達・散布事業実績
散布面積 63.2ha（うち堆肥センター：37.8ha、散布組合：25.4ha）
散布量 1,076t（うち堆肥センター：579t、散布組合：497t）
- ② 環境保全型農業の拡大（環境保全型農業直接支払交付金実績 ※括弧書きは有機農業の取組で内数）
取組面積 10.8ha（2.6ha）〔H23年度〕 → 90.1ha（29.7ha）〔R3年度〕
取組者数 11件（4件）〔H23年度〕 → 51件（31件）〔R3年度〕